

千葉 ライフ・ライン ニュースレター No.297

【発行】千葉県テレビ伝道協力会
〒260-0021 千葉市中央区新宿 2-8-2 CCC ビル
TEL 043-247-3058 FAX 043-247-3072
E-mail: chiba@life-line.tv
ホームページ <https://chiba.life-line.tv/>
郵便振替 ; 00110 - 8 - 579669
ゆうちょ銀行 ; 〇一九店(当座) 0579669

【協力】財団法人 太平洋放送協会(PBA)
〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台
2-1 OCCビル
TEL 03-3295-4921 FAX 03-3233-2650
E-mail: mail@pba-net.com
ホームページ <http://www.pba-net.com>
でんわ世の光 03-3291-9061

「夜が来る」

日本ホーリネス教団 千葉栄光教会協力牧師 八街栄光教会担当 伏見美恵子

千葉テレビ「ライフ・ライン」が放映を始めてから二十五年になるとのこと、素晴らしいことです。

実は私は、ライフ・ラインの初期の頃、プレゼント担当の奉仕をさせていただいていました。なんとそこで、プレゼントに応募してきた主人と出会い、結婚に導かれました。当時主人は未信者でしたが、今、牧師として共に主に仕えています。ライフ・ラインの実、主の恵みです。感謝ご堪えません。

当時の伝道は、チラシや読み物、カセットテープやCDが一般的なツールでした。「ライフ・ライン」によって、お茶の間で福音を視聴できるようになったのです。PBAが良い番組を制作してくださり、それを放送するために多くの奉仕・献金・祈りが積み重ねられました。そして土曜日の朝、たくさんの方々に御言葉が届けられ、励まされ、力づけられてきたのです。これは神様の働きであると共に、多くの方々の献身によって支えられてきたことを、あらためて感謝します。

「このように、わが口から出る言葉も、むなしくわたしに帰らない。わたしの喜ぶところの事をなし、わたしが命じ送った事を果す。」イザヤ 55:11(口語訳)

御言葉は必ず実現し、実を結びます。あらゆる方法を工夫して、み言葉を伝えていきたいです。日本においては「空気を読む」ことを求められ、同調圧力を感じ、福音を語る事が難しいと感じます。そんな時、このニュースレターの2ページの番組案内を「良い番組だから、良かったら見てください」と手渡すこともできます。

コロナ以後、ソーシャルメディアによって、聖書の話や動画が広く視聴できるようになりました。多くの人々が聖書を読んだことのない日本においては、良い伝道のツールになります。異端のものもあるので注意が必要です。だからこそ、内容が確かで質の高いライフ・ラインは安心してシェアできます。テレビで見逃してしまっても、ユーチューブで視聴できます。伝道のためにも積極的に用いることができます。

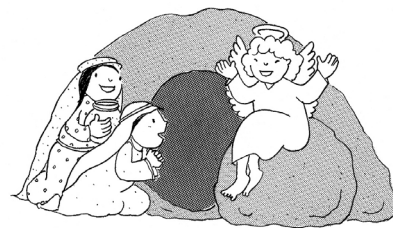
「わたしたちは、わたしをつかわされたかたのわざを、昼の間にしなければならぬ。夜が来る。すると、だれも働けなくなる。」ヨハネ 9:4(口語訳)

このみ言葉は、イエス様が地上で御業を行われる際に語られた言葉です。しかしその切迫感は、今を生きる私たちにも同じように響いてきます。伝道できる時間は限られています。さまざまな機会を生かして、なんとかして一人でも多くの方に、神様が独り子を賜るほどに世を愛してくださったという、この上ない Good News を伝えることができるように、聖霊様の助けを頂き、互いに励まし合い、共に歩んでまいりましょう。

「千葉ライフ・ライン事務局」からの とれたてホットニュース

あなたがたは、この聖なる正しい方を拒んで、人殺しの男を赦免するように要求し、いのちの君を殺したのです。しかし、神はこのイエスを死者の中からよみがえらせました。私たちはそのことの証人です。

(新改訳2017 使徒の働き3:14、15)



1. キリスト教が広まらない。

キリスト教が広まらない最大の功労者は豊臣秀吉と私(山本)は思います。もうすぐ440年が経とうとする1587年のバテレン追放令の影響は江戸幕府にも受け継がれ、その影響は奥底で続いています。政権下にある信仰であれば受け入れられたでしょうが、政権以上の主を仰ぐキリスト教は時の政権にとっていつもやっかいものです。

その中でも主にある愛・あわれみの勝利、真理の勝利を祈って行きたいです。投票の過半数で社会を運営する現代を認識しながらも、信仰は支えられたいです。

2. 番組放映支援感謝。

番組放映の支援を感謝いたします。献金は郵便局ATMから、またコンピュータ、スマホからゆうちょダイレクトでもできます。よろしく願いいたします。

郵便振替 千葉県テレビ伝道協力会
記号番号 00110-8-579669

3. ライフ・ラインCMを募集します。

CM献金は、教会案内と番組放映の維持の働きをいたします。毎月1回の案内は3,000円、写真入りは4,000円です。よろしく願いいたします。お申込み、お問合せはホーム・ページ、あるいは山本進090-6709-0726。

4. 事務局より。

色々な機会を通して番組をご紹介ください。

放送レスポンス状況

毎週放送のレスポンス

4月 千葉47通(初めてお便り 8通)

聖書通信講座

お祈りありがとうございます。4月は、中級1名修了で感謝です。上級に進みます。引き続きお祈りください。在主。(山本進)

<2026年6月の千葉ライフ・ライン祈禱会・委員会>

6月9日(火)午前10時半~12時の予定
千葉クリスチャンセンター(CCC)ビル3F
グローリア足達会計事務所
(〒260-0021 千葉市中央区新宿2-8-2
連絡先 TEL 043-247-3058 事務局)

<奉仕とお交わり>

6月20日(土)午後1時から千葉クリスチャンセンタービル3F、税理士法人グローリア足達会計事務所(TEL043-243-8001)でニュースレター発送を行います。お時間を見計らってご奉仕ください。奉仕を行ってくださる方、お待ちしております。



<4月のおたよりから>

<1週目>・素晴らしい内容でした。絵画を通してイエス様の復活が分かりやすく心に迫った内容でした。ありがとうございました。町田俊之さん
<2週目>・心の乱れが片付けをこぼんでいるのか、いつまでたっても片付けができません。年齢的にはもう綺麗にしておかなければ...と思いつつ、意欲がでない。だ、わ、へ、し、モットーにしたい。(井田典子さん、(だす・わかる・へらす・しまう))

<3週目>・穏やかな表情の現在の枝川さんからは想像もつかなかった過去の体験談を聞き、神様は決して見捨てず見放さないという事を再認識し、確かな神の愛を目の当たりにできました。苦難の時にあっても委ねて祈る事を忘れずに生かされていたこの日を懸命に生きようと思ひ起こされました。

<4週目>・中村さん吉川さんの対談が良かったです。・祈りのなかで応えを得られないこともありますが、お二人の対話の中で常に自分の命はイエス様とともにいるんだという安心感を得ることができました。

<あとがき> (山本) 現在は、あらがえないことで、影響を受け、たいへんですが、このような時こそ主に信頼して心支えられましょう。

【 祈 り 】 番組制作・必要の満たし・視聴者の増加とたましいの救いのため